

株式会社  
 環境総合技術センター

所在地 古賀町 2-12- 7  
 創業 昭和 35 年 10 月  
 従業員数 16 人  
 事業内容  
 ○生ごみリサイクル  
 ○空気・水質の検査、分析、測定  
 ○産業・一般廃棄物の収集、  
 運搬、処理処分 他



代表取締役  
 島田好久 さん

当社は、生ゴミを回収し堆肥としてリサイクルする事業をはじめ、産業・一般廃棄物の処理や水質検査など多岐にわたり事業展開する企業です。ただ、一貫する理念は、環境と人との調和を大事にしなが、常に地域社会に貢献していくこと。

当社の自慢は、特許を取得した「ユークッドシステム」です。今まで、生ゴミのリサイクル処理は、悪臭や衛生面でさまざまな問題がありました。このシステムは、家庭や企業から回収した生ゴミをすぐに高温蒸気殺菌し、その後、当社が開発した特殊乳酸菌で生ゴミの悪臭を無くし、衛生的に処理する自然循環型の生ゴミリサイクルシステムです。海外企業や大学からも注目されており、多くの視察を受け入れています。生ゴミ回収サービスの利用者からも、水を切ったバケツに入れておくだけなので、

簡単かつ衛生的と好評です。また、このシステムで生成される堆肥「ユークッドII」は、放線菌を多く含有。連作でき、美味しい野菜が育つ農地へと改良します。現状維持ではなく、より高品質な堆肥の開発に向けて、現在も大学と研究を重ねています。

国や県の環境関連団体の会長などを務め、多忙で会社にいることが少なかった私は、社員へ「私が考えて仕事をしなさい」と伝えてきました。朝礼では一人ずつ事業の進捗報告と、輪番で話す機会を設けています。これにより、報告・連絡・相談が徹底され、仕事のしやすい環境とくなり、社員も主体的に行動してくれています。

当社を支えてくださるお客様や社員などへの感謝を忘れず、今後も、この人とのつながりを大切にしていきたいと思えます。



▲ユークッドIIで育てた野菜は青々と元気に育ちます。

当社は、各家庭で出る生ごみや食品廃棄物をリサイクルし、安心・安全な方法で製造した良好な堆肥を提供しています。市内の遊休耕地を活用した葉物野菜の栽培モデルを確立し、東南アジアの途上国への技術指導などを行い、世界の食糧危機解消の一助を担いたいと考えています。SDGS やカーボンニュートラルに貢献すべく、持続可能な食品リサイクルの実現と水保発「食糧危機への備え」を発信します。

食の自然循環

